

平成27年度後期実施 STARTプログラム一覧

※平成27年10月現在の予定です。プログラム内容は予告なく変更する可能性があります。

プログラム名/ 研修先大学	渡航期間/定員/ 参加費 (*注)	主な研修内容 (予定)	引率	宿泊場所	研修先大学の紹介	研修先地域・都市の紹介
第28回 オーストラリアの 多文化社会 フリンダース大学 (オーストラリア)	2月19日 (金) ～3月7日 (月) (17泊18日) 定員：30人 参加費：10万円	◆フリンダース大学附属語学学校の教員による特別授業 ・ オーストラリアの直面する諸問題、歴史、教育 ◆フリンダース大学の通常授業への参加 ◆プレゼンテーション・ディスカッション技能の習得 ◆フリンダース大学の学生とのディスカッション・交流 ◆小学校訪問 ◆日本文化紹介プレゼンテーション ◆アデレード市内での研修 ・ 南オーストラリア博物館、ノース・テラス、ランドル・モール等 ◆カンガルー島での研修 ・ 野生動物保護区、リマーカブルロックス、アドミラルズアーチ等 ◆全期間ホームステイ	未定	ホームステイを予定 (1人1家庭)	【フリンダース大学】 http://www.flinders.edu.au/ 1966年に創立されたアデレード市街の郊外に位置する公立大学。革新的で質の高い授業と教授方法に定評があり、宇宙飛行士の毛利衛氏が博士課程を修了したことでも知られています。教育・人文・法学部、医・看護・健康科学部、理工学部、社会・行動科学部によって構成されており、これまで世界100カ国以上から学生が集まり、留学生約4,100名を含む約24,000名の学生が学んでいます(2014年統計による)。広島大学とは2008年から協定を結んでいます。	【アデレード市】 フリンダース大学のある南オーストラリア州は、オーストラリア中央南部に位置し、アデレード市は人口120万人強の州都で、オーストラリアで5番目に大きな都市です。アデレード市には、アボリジニに関するコレクションが世界一と言われている南オーストラリア博物館や州会議事堂など重要な文化施設が集まるノース・テラス、アデレードヒルズと呼ばれる美しい丘陵地帯、アデレード中心部から近い海辺の町グレネルグや、野生動物等が見られる景勝地カンガルー島があります。
第29回 アメリカの大学、 社会と文化 ジェームスマディソン大学 (アメリカ)	2月20日 (土) ～3月6日 (日) (15泊16日) 定員：30人 参加費：10万円	◆ジェームスマディソン大学及び広島大学教員による授業 ・ アメリカ史 ・ アメリカの社会と文化 ◆通常授業への参加、自由研究発表 ◆コミュニティプロジェクトへの参加 ◆ハリソンバーグ周辺地域の施設等見学 ◆ジェームスマディソン大学の学生と交流 ◆ワシントンDC 一日グループ研修 ◆全期間JMU学生のルームメイトと学生寮に滞在	外国語教育 研究センター 田北冬子 特任講師 ほか	ジェームスマディソン 大学寮(現 地学生と ルームシェ ア)を予定	【ジェームスマディソン大学】 http://www.jmu.edu/ 1908年創立の公立大学。「Knowledge is liberty (知識は自由なり)」のモットーのもと教育が行われています。現在は、文学部、経営学部、教育学部、科学技術部、科学・数学部、芸術学部、大学院専門職課程の7つの学部によって構成されており、約20,000名の学生が学んでいます。広島大学とは2006年から協定を結んでいます。	【ヴァージニア州】 ジェームスマディソン大学のあるヴァージニア州は、米 国東部に位置し、首都ワシントンD.C. から2時間の距離に あります。ヴァージニア州には、歴史ある建物や博物 館、美術館などの観光名所が多くあるだけでなく、シェ ナンドー国立公園を始めとした多数の国立公園があり、 自然が豊かなことで知られています。
第30回 ベトナム戦争の痕跡とホーチ ミン市の発展を体感する ベトナム国家大学ホーチン市校人 文社会科学大学 (USSH)、 広島大学ベトナムセン ター (ベトナム)	3月2日 (水) ～3月16日 (水) (14泊15日) 定員：24人 参加費：7万円	◆USSHの教員による授業 ・ ベトナム語入門 ・ ベトナムの社会と文化、ベトナムの経済、ホーチミン市の歴史 ・ 戦争について、ベトナムと広島の戦争と平和 ・ 日越関係 ほか ◆戦争証跡博物館、統一会堂、カンザー自然保護区、 クチトンネル、民族村見学 ◆工業団地、JICAプロジェクトサイト訪問 ◆現地学生との交流、1日ホームビジット、孤児院訪問 ◆天然資源大学訪問 ◆ホーチミン市内グループ研修	平和科学研 究センター 小倉亜紗美 助教 ほか	大学から徒 歩圏内の学 生宿舎(2 人1部屋) を予定	【ホーチミン市人文社会科学大学 (USSH)】 http://en.hcmussh.edu.vn/ ベトナム国家大学ホーチミン市校 (VNU HCMC) の中の 専門大学の一つ。ロシアやポーランド、アメリカ、 オーストラリア、フィリピン、韓国、日本など世界中 の様々な国出身の教員による18学科500科目の授業が行 われています。USSHには日本学部があり、日本に興味 を持って勉強している学生もたくさんいます。2010年 11月に広島大学ベトナムセンターをUSSH内に開設しま した。	【ホーチミンシティ】 ベトナム戦争終結後、1975年に解放されるまでは首都 「サイゴン」として栄えたベトナム最大の商業都市で す。フランス植民地時代のコロニアル様式の建物に代わ り現在は高層ビルが増えましたが、市場や裏通りには昔 と変わらない街並みも残っています。通りやロータリー はバイクであふれかえっており、経済成長の熱気を肌で 感じられる都市です。
第31回 ニュージーランド -自然との共生社会- オークランド大学 (ニュージーランド)	3月11日(金) ～3月28日(月) (17泊18日) 定員：30人 参加費：10万円	◆マオリ文化による歓迎儀式 ◆オークランド大学教員による特別授業 ・ NZの歴史、教育、文化 ◆英語研修 ◆現地学生とのディスカッション・交流 ◆オークランド大学の通常授業への参加 ◆小学校訪問と日本文化紹介プレゼンテーション ◆オークランド市内のNZの歴史・文化に関する施設訪問による研修 ◆オークランド郊外の自然の中でアウトドア活動体験 ◆全期間ホームステイ	教育学研究 科 森田愛 子 准教授 ほか	ホームステイを予定 (1人1家庭)	【オークランド大学】 http://www.auckland.ac.nz/ 1883年に創立されたオークランド市街に位置する ニュージーランド最大規模の国立大学。2015-2016年の QS世界大学ランキングは82位、国内で最上位の大学で す。研究を主導し、その卓越した教育および社会への 貢献で知られています。キャンパスは6つあり、教育、 人文、法、経済・経営、芸術・芸術工学、工、理、 神、医学・健康の9学部によって構成され、留学生 6,010名を含む約44,000名が学んでいます(2014年統計 による)。広島大学とは1979年から協定を結んでいます。	【オークランド市】 ニュージーランド北島に位置し、人口約150万人の商業地 区を有するニュージーランド最大の都市。海に面した地 形から海上交通が栄え「帆の街」という愛称で親しまれ ており、港には多数の小型船舶が停泊し、ハーバーク ルーズやセイリングが盛んです。オークランド博物館や ホウィック歴史村など原住民や開拓民、戦争に関する施 設があります。郊外には、オークランド市街と海が一望 できる死火山イーデン山やワン・トゥリー・ヒル、市街 地の対岸に位置する歴史的町並みの残るデボンポートが あります。
第32回 タイ・バンコクで考える、 グローバル社会における キャリアデザイン チュラーロンコーン大学 (タイ)	3月13日 (日) ～3月27日 (日) (13泊14日) 定員：24人 参加費：7万円	◆チュラーロンコーン大学における講義・演習 ・ 政治・経済の動向や社会・文化の特質と多様性等に関する講義・演習 ・ 現地学生とのディスカッション・協働 ・ タイ語入門講座 ・ 社会文化施設見学 ◆国際機関・企業等訪問による体験型学習 ・ タイの国際機関、JICAタイ事務所、JETRO及び商工会議所、多様な 業種の日系企業の視察とブリーフィング ・ 同訪問先で活躍する日本人による異文化の中での職務経験やキャリア 形成の具体例に係るセミナー ・ 同訪問体験を振り返りながら自らの現状を分析し、今後のキャリア パスを構想するワークショップ等	教育学研究 科 桑山尚 司 講師 ほか	チュラーロ ンコーン大 学内の宿舎 (1～2人1 部屋)を予 定	【チュラーロンコーン大学】 http://www.chula.ac.th/en/ 1917年に設立されたタイ王国において最も古い歴史を もつ、タイを代表する名門国立大学。大学名はチュ ラーロンコーン大王(ラーマ5世)に由来。バンコク 市街の中心部に広大なキャンパスを有し、19の学部と 大学院、その他多数の研究施設で約4万人の学生が学ん でいます(2014年統計による)。特に、アジア地域有 数のビジネススクールであるサシン経営大学院は国内 外から高い評価を得ています。広島大学とは2003年か ら協定を結んでいます。	【バンコク都】 タイ王国の首都であるバンコクは、人口800万人以上を有 するタイの政治・経済・教育・文化の中心地であるだけ でなく、近年ではさらにASEAN経済共同体の中核都市の一 つとして先進的な国際都市へと成長を遂げています。日 系企業の進出も活発であり、在留邦人数は外国の都市で5 番目に、東南アジアでは最も多い都市です。バンコク中 心部のラッターナーコーン地区にある寺院群や、町の 中心を流れるチャオプラヤー川の景観など、近代化が進 んだ今でも歴史的建造物が残り、古今の歴史と文化が見 事に調和した都市として知られています。

(*注) 参加費には国内交通費を含みません。参加費のほかに、自己負担費用として、海外旅行保険料、
パスポート申請費、日本国内交通費、現地交通費、お小遣い(食費含む)などがかかります